



# みんなで はじめましょう



● 問合せ先 企画政策課企画1係 (☎ 23-2124)

## 1 ESG エスディージー ス SDGs とは Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)

2015年の国連サミットで採択された、2030年までに、持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標です。

## 2 SDGs の大切な考え方

SDGsは、持続可能で『誰一人として取り残さない』社会の実現を目指し、環境・社会・経済にまたがる広範な課題に、統合的に取り組むとされています。

このためには、すべての関係者（先進国、途上国、政府、地方自治体、民間企業、NPO・NGO、学術機関、各種団体、住民など）が協力して取り組むことが大切とされています。

## 3 SDGs を始めましょう

伊万里市もSDGsに関する市民の認知や理解を深める取り組みを進めています。

市が、令和4年に実施した市民アンケートの結果では、SDGsに関する認知度は77.6%、理解度は43.4%となっています。

認知度や理解度は、着実に向上しています。2030年のゴールまで折り返しのタイミングとなる今こそ、皆さんの日々の生活や学校、会社などさまざまな場面で、一人一人がSDGsに貢献する取り組みを始めましょう。

### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



【出 所：国際連合広報センター】



## いまりSDGsスクール開校!

### LESSON 1

### アート泥団子ワークショップ

#### ◆参加者に聞いてみました

#### 生活の中でできるあなたのSDGs

【左】水野 湊介さん  
(伊万里小学校3年)  
「電気をこまめに消すようにします」

【右】水野 有香さん  
(二里町東八谷搦)  
「節水を心がけます」



市民のSDGsへの理解を深めるための取り組みとして、1月22日に立花コミュニティセンターで、市内の小学生を対象としたワークショップを開催しました。

講師を務めたのは、西九州大学短期大学部准教授の春原淑雄さんと幼児保育学科2年生の学生4人。参加した12組30人の親子は、色を塗った泥団子を一生懸命に磨いて、キラキラと光るアート作品に仕上げました。



↑『しっくい』に絵の具を混ぜて泥団子に塗って、このあと一生懸命に磨きました



## いまりSDGsスクール開校!

### LESSON 2

#### リアルスコープ～IMARI株式会社～

◆大川内小4年生に聞いてみました  
生活の中でできるあなたのSDGs



【左】福井 陽莉さん

「ペットボトルはラベルとキャップを外し、  
分別して捨てます」

【右】淵上 晃生さん

「段ボールや瓶のリサイクルを心がけます」

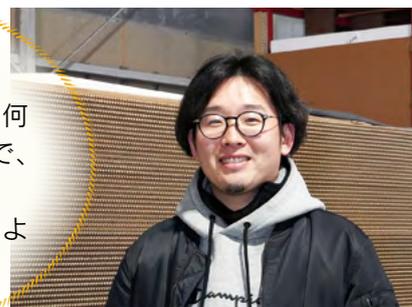


2月3日に、大川内小学校の3年生 15人と4年生 15人を対象としたSDGsスクールを開催しました。

講師は、再生率100%の段ボール関連事業などを行う地元企業『IMARI株式会社（大川内町）』代表取締役社長の福井康一郎さん。児童たちは、工場見学や段ボール家具のワークショップを通じて、『GOAL 12 つくる責任 つかう責任』を学びました。

#### 福井社長のSDGs

物を使うときには、何回も繰り返し使うことで、地球環境に優しくなる。  
いいものを長く使うようにしましょう。



代表取締役社長の福井さん

## 伊万里市の取り組み

市では、SDGsへの貢献に向けたさまざまな取り組みを実施しています。ここでは、その一例を紹介します。

### 1 再生可能エネルギーの推進

市役所の庁舎やコミュニティセンター、学校などに『太陽光パネル』を設置しています。  
災害時には、非常用電源として利用できます。



↑二里コミュニティセンターに設置している太陽光パネル

### 2 食品ロス削減の推進



↑伊万里実業高校フードプロジェクト部によるフードドライブ

家庭などで余っている食品を集めて、ひとり親世帯などの必要とする人に届ける『フードドライブ』に取り組む伊万里実業高校を支援しています。



### 3 子どもの心と体の健康支援

手作りで温かい食事をアットホームな場所とともに提供する『こども食堂』や、さまざまな困りごとを抱える家庭に、弁当などを届ける『こども宅食』に取り組むNPO法人のいちご会を支援しています。



↑のいちご会によるコミュニティセンターでのこども食堂

次世代の子どもたちが、笑顔で暮らせる持続可能なまちを目指して、SDGsの推進に取り組んでいきます。